



JBC news

since 1970

【毎月1回10日発行・1部20円】

JBCニュース
第606号 2022年12月10日
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square 511号室
03 (6804) 5605
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>



神奈川県チーム
@全国都道府県対抗選手権

JFE西日本
@全日本実業団選手権

同じ●●でつながろう！



男子日本代表
@アジアシニア選手権

同じ目標、同じ会社、同じ世代…ボウリングは、「同じ●●仲間」が集まると格段におもしろい！今月はチーム戦にハマってるボウラーたちの奮闘をたくさんお届けします。「●●」は、何でもアリ！JBCで「●●仲間」を探してみませんか？



女子日本代表
@アジアシニア選手権

- 2～3面 理事会・委員会レポート、第51回全国都道府県対抗選手権大会
- 4～5面 第16回アジアシニア選手権大会
- 6面 第55回全日本実業団選手権大会
- 7～8面 第55回全日本新人選手権大会



第40回全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会

2023年1月27日(金)～29日(日)

MKボウル上賀茂

〒603-8036
京都府京都市北区上賀茂西河原町1-1
TEL 075-701-2131

- 主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後援 公益財団法人 京都府スポーツ協会
- 協力 日本ボウリング機構 (JBO)
- 主管 一般社団法人 京都府ボウリング連盟

第51回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会

2023.1.20(金)▶22(日)

- 主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後援 兵庫県 兵庫県教育委員会
公益財団法人 兵庫県スポーツ協会
- 協力 日本ボウリング機構 (JBO)
- 主管 一般社団法人 兵庫県ボウリング連盟

神戸六甲ボウル

〒657-0035 兵庫県神戸市灘区友田町5-2-1
TEL 078-841-3151

選手権大会

混合4人チーム戦 優勝



神奈川

内閣総理大臣杯 神奈川県

内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯第51回全国都道府県対抗選手権大会が11月3日(木・祝)から6日(日)にかけて、鹿児島・サンライズアリーナ(公競No.146・006)で開催された。

内藤広人(静岡)が高校1年生の若さで男子選手権となり、大槻絵里子(神奈川)は鮮やかな逆転劇で女子選手権者に。ともに初めての文部科学大臣杯獲得を果たした。

4種目の入賞ポイントで争う内閣総理大臣杯は、2種目で優勝した神奈川県が3大会ぶり3度目の獲得となった。



開会式であいさつする北川薫会長

混合2人チーム戦
前半は徳島B(小林・星合)の1214を筆頭に、4位までが1200台に乗せた。3位につけていた和歌山A(伊勢川・渡邊)はAシフト。後半は125とスコアを伸ばしきれなかったが、暫定トップでBシフトの結果を待った。

徳島Aと、1ピン差迫る三重A(入江・伊東)はBシフト。後半1ゲーム目に三重Aが400をマークして逆転したが、徳島Bは最終ゲーム

混合4人チーム戦
前半は神奈川(菅野・木村・大槻・川田)が2000でトップ。地元鹿島1(片野坂・尾方・片野坂・久富木)は69ピン差の2位につけた。Aシフトの神奈川は、後半2ゲーム目でスコアを落とし、最終ゲームは2021で締めくくって、トータル4717とした。Bシフトのチームが逆転するにはプラスのスコアが必要な状況だったが、

男子HG・HS
愛甲雅治(宮崎)

女子HG
入江菜々美(三重)

女子HS
大槻絵里子(神奈川)



2人チーム戦・準優勝の三重A



2人チーム戦・第3位の広島A



2人チーム戦・第5位の静岡A

混合2人チーム戦
前半は徳島B(小林・星合)の1214を筆頭に、4位までが1200台に乗せた。3位につけていた和歌山A(伊勢川・渡邊)はAシフト。後半は125とスコアを伸ばしきれなかったが、暫定トップでBシフトの結果を待った。

混合4人チーム戦
前半は神奈川(菅野・木村・大槻・川田)が2000でトップ。地元鹿島1(片野坂・尾方・片野坂・久富木)は69ピン差の2位につけた。Aシフトの神奈川は、後半2ゲーム目でスコアを落とし、最終ゲームは2021で締めくくって、トータル4717とした。Bシフトのチームが逆転するにはプラスのスコアが必要な状況だったが、

男子HG・HS
愛甲雅治(宮崎)

女子HG
入江菜々美(三重)

女子HS
大槻絵里子(神奈川)



2人チーム戦・準優勝の三重A



2人チーム戦・第3位の広島A



2人チーム戦・第5位の静岡A

地区代表 理事会議を開催

2022年度地区代表理事会議が10月7日(金)に栃木・あしかがフラワーパークプラザで開催された。

2023年に開催予定の特別国民体育大会(かごしま国体)と、日本スポーツマスターズ2023福井大会について、ボウリング競技のブロック割当を審議し、次回理事会への提案が決定しました。

また、全日本ボウリング協会の名称を変更する計画と、協会主催大会収支について検討しました。

報告事項では、協会国際委員会の山下知且委員がIBF(国際ボウリング連盟)アスリート委員に選出されたこと、第82回国民体育大会の実施競技選定でボウリング競技が通過したことが報告されました。

2022年度 第3回理事会開催

2022年度第3回理事会は10月28日付で開催されました。(決議略の形式にて)

地区代表理事会議を経て提案された、特別国民体育大会と日本スポーツマスターズ2023福井大会のブロック割当と、2023年度JBC公認第1種・第2種審判員昇格講習会の結果について承認されました。

【ブロック割当は下表のとおり】

審判昇格講習会・認定会の合格者発表

2022年度のJBC公認第1種・第2種審判員昇格講習会、第3種審判員認定会が開催されました。検定試験の合格者は下記のとおりです。

【合格者】

▽第1種 鎌田修三(青森)、小野寺亮太(岩手)、宮本耕二(茨城)、檜垣智美(茨城)、浦川毅(埼玉)、有賀利行(埼玉)、田中一成(東京)、飯島祥行(東京)、羽島尚吾(東京)、山山雅光(神奈川)、五島利夫(愛知)、山口勝也(愛知)、原口一陽(鹿児島)、草原千宏(鹿児島)、伊川剛(鹿児島)

▽第2種 夏坂謙治(青森)、平田和宏(山形)、安田公彦(福島)、花田和文(茨城)、千代間隆文(埼玉)、高橋洋(埼玉)、松原聡(東京)、鈴木彪雅(東京)、田中雄也(東京)、小池利明(長野)、村石智康(長野)、竹下将弘(長野)、土屋賢悟(長野)、関陽一(長野)、加藤勇雄(長野)、角英樹(長野)、加納葵(長野)、佐野睦美(長野)、山澤肇(静岡)、岸山淑(静岡)、中西晴子(愛知)、西村由彦(愛知)、中野伸彦(愛知)、大原和博(兵庫)、林勝志(佐賀)、前原健吾(佐賀)、丸田小百合(鹿児島)

▽第3種 鳥谷部エイ子(青森)、中野(石川)、徳永幸(愛知)、今井佳子(愛知)、早川美加(愛知)、一佛朋亮(愛知)、下松千夏(愛知)、林久美子(愛知)、澤崎幸(愛知)、佐伯典代(愛知)、黒川陽(三重)、加藤敦士(岐阜)、高橋義人(滋賀)、藤原智也(滋賀)、成田真由美(京都)、大野真(滋賀)、新井龍将(京都)、松村清志(京都)、稲上智之(大阪)、坂本圭司(兵庫)、坂本益代(兵庫)、土川宙(鳥取)、土川由美(鳥取)、大井典子(岡山)、赤木研太(広島)、瀧野海斗(広島)、石川慎(広島)、細川淳平(徳島)、近藤健(徳島)、重松啓三(愛媛)、山沖未来(高知)、野村さや(高知)、村濱裕紀(佐賀)、中島望結(佐賀)、笠原裕奈(佐賀)、有村彰洋(鹿児島)、水町剛(鹿児島)、佐田輝(学連)、藤田翔太(学連)、栗林春稀(学連)、石田智輝(学連)、吉原正明(学連)、千田祐大(学連)、山口南夏(学連)、岡田海人(学連)、米山侑花(学連)、辻井裕大(学連)、南玲良(学連)、古澤麗知(学連)、赤峰隼(学連)、古澤麗知(学連)、南玲良(学連)、光崎脩学(学連)

特別国民体育大会ボウリング競技会 ブロック割当

ブロック名	都道府県名	成年		少年	
		男子	女子	男子	女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3	3	3
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	4	5	5
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	2	2	2
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	2	3	2
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	3	3	2	3
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	3	2	2
四国	香川、徳島、愛媛、高知	2	1	1	1
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	4	4	3
開催地	(鹿児島県)	1	1	1	1
計		28	24	24	23

日本スポーツマスターズ2023福井大会 ブロック割当

ブロック名	都道府県名	男子	女子
北海道	北海道	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	5
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	3
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	3	3
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	4
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	3
四国	香川、徳島、愛媛、高知	2	2
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	5
開催地	(福井県)	1	1
計		32	32

内閣総理大臣杯
文部科学大臣杯

第51回全国都道府県対抗



男子・準優勝の
星合一希 (徳島)



男子・第3位の
内藤慎之介 (京都)



男子・第4位の
福満亮 (長崎)



男子・第5位の
枝吉誠 (佐賀)



選手権者決定戦 優勝



混合2人チーム戦 優勝



徳島B

文部科学大臣杯 内藤広人 & 大槻絵里子

静岡

神奈川

内藤広人	男子選手権者	静岡県	16歳
	使用ボール	The One Urethane(15p3oz)	
大槻絵里子	女子選手権者	神奈川県	41歳
	使用ボール	The One Urethane(15p)	
公認ドライバー		村松賢季 (公認No. 1263-21)	
公認ドライバー		後藤潤光 (公認No. 1803-14)	

チーム戦2種目の両方に入賞したのは徳島のみ。しかも混合2人チーム戦では優勝

団体総合

700Pを決めた選手はなく、2位上がった星合との差は213ピンに広がった。内藤は後半も安定のボウリングで650。高校1年生にして優勝の快挙を遂げた。

トップ通過は入江菜々美(三重)。12ゲーム2403でただ一人プラスに乗せた。2位の泉宗心音(愛媛)は46ピン差で入江を追った。

決定戦の前半で入江は566。泉宗心音は609とし3ピン差に迫った。そして3位には656を打った大槻絵里子(神奈川)が浮上。泉宗と15ピン差につけると、後半1ゲーム目の213で逆転に成功した。最終ゲームに石本美来(広島)が220としたが、大槻はリードを活かして逃げ切った。

女子選手権者決定戦
トップ通過は入江菜々美(三重)。12ゲーム2403でただ一人プラスに乗せた。2位の泉宗心音(愛媛)は46ピン差で入江を追った。

混合2人チーム戦 優勝
徳島B

男子選手権者決定戦
トップ通過したのは内藤広人(静岡)。チーム戦の12ゲームで2543とし、2位の愛甲雅治(宮崎)とは24ピン差。3位の星合一希(徳島)も含めて、ジュニア選手が上位を占めた。

女子選手権者決定戦
トップ通過は入江菜々美(三重)。12ゲーム2403でただ一人プラスに乗せた。2位の泉宗心音(愛媛)は46ピン差で入江を追った。



男子・第6位の
久富木広 (鹿児島)



女子・準優勝の
石本美来 (広島)



女子・第3位の
泉宗心音 (愛媛)

2位の徳島は全国知事会会長杯を獲得。3位には男子選手権者決定戦優勝の静岡が入り、大会会長杯を獲得した。

チーム戦の優勝争いに絡んだ選手たちは、個人でも上位につけて選手権者決定戦に進出。徳島は星合一希が男子準優勝で7点を追加した。一方神奈川は大槻絵里子の優勝で10点、菅野沙織も6位に入り1点を加えて、徳島を2点上回って内閣総理大臣杯を獲得した。

し、合計12点をもって折り返した。それに続いたのは混合4人チーム戦優勝で10点の神奈川。3番手には各チーム戦準優勝の三重県と愛知県が7点で並んだ。

し、合計12点をもって折り返した。それに続いたのは混合4人チーム戦優勝で10点の神奈川。3番手には各チーム戦準優勝の三重県と愛知県が7点で並んだ。



団体総合・優勝の
神奈川県



団体総合・準優勝の
徳島県



団体総合・第3位の
静岡県

第51回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会 成績表

2022年11月3日(木・祝)~6日(日)

参加 24団体 (男子56・女子56名 合計112名)

鹿児島・サンライトゾーン

混合2人チーム戦 (2x6G)

優勝	徳島B (小林愛理・星合一希)	2,393
準優勝	三重A (入江菜々美・伊東将成)	2,391
第3位	広島A (石本美来・中塩貴倫)	2,349
第4位	和歌山A (伊勢川華愛・渡邊玲史)	2,329
第5位	静岡A (鈴木波流・内藤広人)	2,320
第6位	愛媛A (泉宗心音・河端星樹)	2,314

混合4人チーム戦 (4x6G)

優勝	神奈川 (菅野沙織・木村光希・大槻絵里子・川田光一)	4,717
準優勝	愛知 (林育美・岡田有翔・山田悠敏奈・三谷優斗)	4,676
第3位	鹿児島1 (片野坂彩・尾方幸男・片野坂あゆみ・久富木広)	4,545
第4位	沖縄1 (翁長由布子・稲嶺秀汰・仲宗根雅恵・仲宗根宏樹)	4,455
第5位	徳島 (小林茜・福島混己・小林愛理・星合一希)	4,439
第6位	京都 (森下結・片岡達也・森下美紀・内藤慎之介)	4,425

選手権者決定戦 (18G)

《男子》	優勝 内藤広人 (静岡)	3,941	《女子》	優勝 大槻絵里子 (神奈川)	3,531
	準優勝 星合一希 (徳島)	3,734		準優勝 石本美来 (広島)	3,490
	第3位 内藤慎之介 (京都)	3,723		第3位 泉宗心音 (愛媛)	3,479
	第4位 福満亮 (長崎)	3,700		第4位 入江菜々美 (三重)	3,474
	第5位 枝吉誠 (佐賀)	3,646		第5位 森下美紀 (京都)	3,459
	第6位 久富木広 (鹿児島)	3,623		第6位 菅野沙織 (神奈川)	3,388
	個人Mゲーム 愛甲雅治 (宮崎)	265		個人Mゲーム 入江菜々美 (三重)	255
	個人Mシズ 愛甲雅治 (宮崎)	696		個人Mシズ 大槻絵里子 (神奈川)	650

内閣総理大臣杯得点

優勝	神奈川県	21点
準優勝	徳島県	19点
第3位	静岡県	12点



女子・第4位の
入江菜々美 (三重)



女子・第5位の
森下美紀 (京都)



女子・第6位の
菅野沙織 (神奈川)

ガイド

全国都道府県対抗選手権大会は、翌年の国民体育大会を開く会場で開催している大会。2023年には、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていたが、今年度が開催されるため、今大会は3年ぶりに鹿児島市のサンライトゾーンで行われた。

1チームは男子2名・女子2名の4名編成で、混合2人チーム戦、混合4人チーム戦、男子・女子選手権者決定戦の4種目を行う。チーム戦の各種目の入賞団体は、順位に応じてポイントが付与され、その合計で団体総合の順位を決定する。(1位10点、2位7点、3位5点、4位3点、5位2点、6位1点)なお、ボーナス割当を利用して複数チーム出場している団体については、4人チーム戦での個人成績上位20名が進出する。

は人数×6ゲームのスコアで順位を決定。選手権者決定戦は2人・4人チーム戦での個人成績上位20名が進出する。

4名編成で、混合2人チーム戦、混合4人チーム戦、男子・女子選手権者決定戦の4種目を行う。チーム戦の各種目の入賞団体は、順位に応じてポイントが付与され、その合計で団体総合の順位を決定する。(1位10点、2位7点、3位5点、4位3点、5位2点、6位1点)なお、ボーナス割当を利用して複数チーム出場している団体については、4人チーム戦での個人成績上位20名が進出する。

そして男女の選手権者には文部科学大臣杯が授与される。

グラブスラムに王者!

第55回全日本実業団選手権大会



JFE西日本A (広島)

第55回全日本実業団選手権大会が11月25日(金)から27日(日)にかけて埼玉・新狭山グラウンドボウル(公競No.111-030)で開催され、JFE西日本(広島)が35年ぶり3度目の優勝を果たした。

今年度は全日本実業団産別も制しているJFE西日本は、同社として初の年間グラブスラム達成に王手をかけた。

競技

予選は2つの組に分かれて行われ、各組の上位8チームが決勝へ進む。初日に1回戦の3ゲームを行ったA組は、桑名市役所(三重)が3095、日本製鉄君津(千葉)が3090で1・2位につけた。

続いてB組が6ゲームを通して競技する。1回戦ではJFE西日本A(広島)の3215をトップに、上位3チームがA組1回戦のスコアを大きく上回った。続いてB組2回戦では、日本精工藤沢(神奈川)が3287、エナジックインターナショナル(沖縄)が3277をマーク。JFE西

個人表彰

予選9ゲームの個人スコア(ハンディキャップ含まず)の上位3名を表彰。男子は日本精工藤沢のチームハイシリズに貢献した斎藤祐太が1位。2位にはチーム3位のトヨタ自動車

も、JFE西日本Aは100前後のスコアを続けた。エナジックインターナショナルが最終ゲームで追いつかれてしまった。2・3ゲーム目、レーン移動とオイルの変化を受けながら、

ビッグゲームに成功。エナジックインターナショナルは1006に留まり、逆転を許した上132ピン差をつけられてしまった。2・3ゲーム目、レーン移動とオイルの変化を受けながら、

A・高平沙也斗が入り、JFE西日本Bの佐藤大河が3位となった。

女子は優勝争いを演じた2チームのメンバーが独占。エナジックインターナショナルの石嶺可奈子と荻堂純子が1・2位となり、JFE西日本Aの石本美来が3位に入った。

第55回全日本実業団ボウリング選手権大会 成績表

2022年11月25日(金)～27日(日)

参加：35チーム 196名

会場：埼玉・新狭山グラウンドボウル

5人チーム戦 (5×12G)

優勝	JFE西日本A (広島)	石本美来・石井浩次・松藤信明 福田嘉光・峰崎浩二	12,687
準優勝	エナジックインターナショナル (沖縄)	荻堂純子・石嶺可奈子・我那覇隆也 儀間光博・幸喜将太・下地一秀	12,585
第3位	トヨタ自動車A (愛知)	阿部広知・鈴木貴光・小林 浩 松岡富綱・高平沙也斗	12,412
第4位	神奈川県実業団OBクラブ (神奈川)	村上悦男・安藤 博・長谷川孝嘉 府川裕行・小玉 真・村上知子	12,215
第5位	ユニプレス (静岡)	村上太一・深澤一敏・深澤智秀 小林 弘・遠藤金龍	12,212
第6位	桑名市役所 (三重)	庄瀬智大・米山裕紀・小椋達也 小林剛美・柳川弘行・片山 駿	12,186

個人 男子 (9G)

第1位	斎藤 祐太 (神奈川)	日本精工藤沢	2,083
第2位	高平 沙也斗 (愛知)	トヨタ自動車A	2,057
第3位	佐藤 太河 (広島)	JFE西日本B	2,020

個人 女子 (9G)

第1位	石嶺 可奈子 (沖縄)	エナジックインターナショナル	1,883
第2位	荻堂 純子 (沖縄)	エナジックインターナショナル	1,800
第3位	石本 美来 (広島)	JFE西日本A	1,795

ハイゲーム・ハイシリーズ

チームハイゲーム	ユニプレス (静岡)	村上太一・深澤一敏・深澤智秀 小林 弘・遠藤金龍	1,189
チームハイシリーズ	日本精工藤沢 (神奈川)	石川夕真・小西富平・中川和紀 畑 秀明・斎藤祐太・小林 猛	3,287
個人ハイゲーム	村上 太一 (静岡)	ユニプレス	299
個人ハイシリーズ	畑 秀明 (神奈川)	日本精工藤沢	754

準優勝のエナジックインターナショナル(沖縄)



第3位のトヨタ自動車A(愛知)



第4位の神奈川県実業団OBクラブ(神奈川)



第5位のユニプレス(静岡)



第6位の桑名市役所(三重)



ガイド

実業団ボウリングの最高峰とされる全日本実業団選手権大会は、オールドグッズな5人チーム戦を行う。予選9ゲーム、決勝3ゲームの合計スコアで優勝を争うが、今大会では予選をA・B組に分けて、各組内の上位8チームが決勝に進む形がとられる。

JFE西日本は旧名称・日本鋼管福山として第10回(1977年)、第20回(1998年)に優勝しており、今回は35年ぶりの大会制覇となった。また今年5月の全日本実業団産別選手権での2冠も達成し、来年2月の実業団都市対抗選手権では年間グラブスラムに挑戦することになる。

個人HGの村上太一(静岡・ユニプレス)

個人HSの畑秀明(神奈川・日本精工藤沢)

チームHGのユニプレス(静岡)

チームHSの日本精工藤沢(神奈川)

男子個人1位の斎藤祐太(神奈川・日本精工藤沢)

男子個人2位の高平沙也斗(愛知・トヨタ自動車A)

男子個人3位の佐藤太河(広島・JFE西日本B)

女子個人1位の石嶺可奈子(沖縄・エナジックインターナショナル)

女子個人2位の荻堂純子(沖縄・エナジックインターナショナル)

女子個人3位の石本美来(広島・JFE西日本A)

第55回全日本新人選手権大会

少年男子

予選1回戦で熊沢かおり(宮城)が746、久保田悠志(群馬)が727をマークした。3位につけた立花仁貴(兵庫)は2回戦、スコアを伸ばせなかった上位2名を抜いてトップに。パフォーマクを達成した高久大和(沖縄)も立花と同点で並んだ。

立花と高久は6ゲームで1308。それを15ピン差で追っていた増田優希(愛知)は、3回戦も693を打ち1位通過を決めた。高久は33ピン差で2位に留まり、勝負の決勝戦へ。

増田は1ゲーム目に277をマークし、高久との差をさらに広げると、最終ゲームも200に乗せて折

終ゲームも233と打ち上げて優勝。前回大会3位からのリベンジを遂げた。

少年女子

熊田菜奈海(埼玉)は3ゲームともプラスに乗せて695の好スタート。24ピン差で2位につけた高橋梨織奈(神奈川)は2回戦も623とし、た一人アパレージを200に乗せて折

成年男子

は、13位スタートの増田啓佑(学連)が731と打ち上げて一気にトップへ。西島本有生(学連)も744をマークして5ピン差の2位に浮上した。西島本は3回戦も650にまでとめて

トップ通過を決めた。2・3位にはとも学連の中里隆和、寺地真輝が並んだが、西島本とは4マーク差がついていた。

決勝戦、トップ3だけでなく、6位入賞までを独占できそうな学連勢の勢いに待ったをかけた選手が。林大智(長野)はトップと108ピン差の11位で予選を通過すると、いきなり280をマーク。1ピン差まで迫られた西島本は、2ゲーム目に290で応戦。

林は263でぐらいついて最終ゲームを迎え、286で締めくくった。壮絶なビッグゲームの応酬を見せつけ、林が大逆転勝利を決めた。

成年女子

1回戦は596にまとめた鈴木サラ(神奈川)がトップ。10位と出遅れた坪井美樹(埼玉)だったが、2回戦で671と打ち上げて首位に立った。3回戦では鈴木が623をマークしてトップに戻り、常に2位をキープしてきた河村怜奈(京都)はシリーズブローハイがわずかに4ピンという安定感で鈴木と23ピンの僅差につけた。

決勝戦、上位陣はスコアをプラスに乗せられず苦戦しながら最終ゲームを迎えた。21ピン差で追う河村はラストに205をマーク、打ち切れなかった鈴木をついに逆転して優勝を果たした。

優勝者にお米とお肉 抽選でラフランスも

今大会の各部門優勝選手には、副賞として「選べる肉のギフトカード」を贈呈。優勝から第3位までの選手には、主管の山形県ボウリング連盟より山形県のブランド米「雪若丸」が贈呈された。

また抽選賞として、4名の選手にラフランスがプレゼントされた。

少年男子の部



準優勝の高橋一葵(茨城)



第3位の立花仁貴(兵庫)



第4位の高久大和(沖縄)



第5位の渡邊楓(茨城)



第6位の熊澤かおり(宮城)

少年女子の部



準優勝の大野萌葉(群馬)



第3位の藤田妃夏(東京)



第4位の高橋梨織奈(神奈川)



第5位の酒井愛(愛知)



第6位の井崎寛菜(茨城)

成年男子の部



準優勝の西島本有生(学生連合)



第3位の井上駿(広島)



第4位の中里隆和(学生連合)



第5位の寺地真輝(学生連合)



第6位の永井裕乃進(三重)

成年女子の部



準優勝の鈴木サラ(神奈川)



第3位の須藤真海(学生連合)



第4位の坪井美樹(埼玉)



第5位の宇佐美玲菜(福島)



第6位の中村水綺(青森)

第55回全日本新人ボウリング選手権大会 成績表

2022年11月11日(金)~13日(日)

参加: 251名

会場: 山形・山形ファミリーボウル

《少年男子の部》 12G		70名	《少年女子の部》 12G		33名
優勝	増田 優希 (愛知)	2,687	優勝	熊田 菜奈海 (埼玉)	2,470
準優勝	高橋 一葵 (茨城)	2,605	準優勝	大野 萌葉 (群馬)	2,373
第3位	立花 仁貴 (兵庫)	2,603	第3位	藤田 妃夏 (東京)	2,352
第4位	高久 大和 (沖縄)	2,587	第4位	高橋 梨織奈 (神奈川)	2,338
第5位	渡邊 楓 (茨城)	2,571	第5位	酒井 愛 (愛知)	2,312
第6位	熊澤 かおり (宮城)	2,562	第6位	井崎 寛菜 (茨城)	2,268
ハイゲーム	高久 大和 (沖縄)	300	ハイゲーム	宮國 愛奈 (沖縄)	250
ハイシリーズ	高橋 一葵 (茨城)	767	ハイシリーズ	高橋 侖里 (神奈川)	654

《成年男子の部》 12G		125名	《成年女子の部》 12G		23名
優勝	林 大智 (長野)	2,728	優勝	河村 怜奈 (京都)	2,303
準優勝	西島本 有生 (学生連合)	2,719	準優勝	鈴木 サラ (神奈川)	2,289
第3位	井上 駿 (広島)	2,625	第3位	須藤 真海 (学生連合)	2,270
第4位	中里 隆和 (学生連合)	2,624	第4位	坪井 美樹 (埼玉)	2,245
第5位	寺地 真輝 (学生連合)	2,572	第5位	宇佐美 玲菜 (福島)	2,244
第6位	永井 裕乃進 (三重)	2,567	第6位	中村 水綺 (青森)	2,181
ハイゲーム	岸崎 大知 (東京)	278	ハイゲーム	坪井 美樹 (埼玉)	241
ハイシリーズ	西島本 有生 (学生連合)	744	ハイシリーズ	坪井 美樹 (埼玉)	671

パーフェクト 300

高久大和選手が達成

第55回全日本新人選手権大会において、高久大和選手(沖縄)が大会第20号となるパーフェクトゲームを達成。協会主催大会公認第517号として認定された。

高久大和	パーフェクト	
	沖縄県	16歳
使用ボール	Realize Angular One(15p)	
公認ドライバー	下地良信 (公認No. S0685-47)	



少年男子の部 HGの高久大和(沖縄) 少年男子の部 HSの高橋一葵(茨城) 少年女子の部 HGの宮國愛奈(沖縄) 少年女子の部 HSの高橋侖里(神奈川) 成年男子の部 HGの岸崎大知(東京) 成年男子の部 HSの西島本有生(学生連合) 成年女子の部 HG・HSの坪井美樹(埼玉)

Let's access! JBCのSNS

初タイトルをかけた戦い

第55回全日本新人選手権大会



少年男子の部 優勝

増田優希 (愛知)



少年女子の部 優勝

熊田菜奈海 (埼玉)



成年男子の部 優勝

林大智 (長野)



成年女子の部 優勝

河村怜奈 (京都)

2022年度 各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	2022年11月30日 現在		リーグ
		公認件数	開催実数	
北海道地区	北海道	21	75	5
	青森	31	50	3
	岩手	22	37	1
東北地区	宮城	28	79	16
	秋田	7	14	1
	山形	18	14	4
	福島	18	14	4
関東地区	茨城	17	16	3
	栃木	13	16	9
	群馬	18	77	3
	埼玉	40	18	6
	千葉	24	82	13
	東京	25	64	23
	神奈川	25	30	16
北信越地区	新潟	15	22	1
	山梨	1	1	1
	長野	15	51	1
東海地区	富山	21	85	1
	石川	19	31	4
	福井	9	4	4
関西地区	滋賀	34	76	7
	京都	48	48	1
	大阪	34	54	5
中国地区	三重	20	19	17
	奈良	27	77	1
	和歌山	47	109	1
四国地区	徳島	26	18	5
	高松	21	30	17
	香川	17	17	1
九州・沖縄地区	福岡	14	16	1
	佐賀	11	15	1
	熊本	3	3	4
全国合計		899	1,505	270

ガイド

全日本新人選手権大会は、少年男子・女子、成年男子・女子の4部門を設定。個人戦で優勝を争う。

▽出場資格
▽成年男子・女子
協会入会から3年以内(第55回大会は2020〜2022年年度入会)の者。ただし、国民体育大会を含む協会主催大会において個人種目で優勝経験のある者(ジュニアの大会・部門における実績は除く)と、今年度の全日本シヨナルチーム・ユースナショナルチームメンバーは参加できない。学校の卒業に伴いジュニア・高校登録・学連会員から個人正会員・実業団会員に登録変更した者は、変更時を入会初年度とみなす。

▽少年男子・女子
2022年4月1日現在で18歳未満の者は、通算3回まで大会に出場できる。ただし、国民体育大会を含む協会主催大会において個人種目で優勝経験のある者と、今年度の全日本シヨナルチーム・ユースナショナルチームメンバーは参加できない。

▽競技方法
4部門とも、予選9ゲーム、決勝3ゲームを投球し、合計12ゲームのトータルピンで順位を決定。決勝には成年男子24名、成年女子12名、少年男子21名、少年女子12名が進出できる。

第55回全日本新人選手権大会が11月11日(金)から13日(日)にかけて、山形・山形ファミリーボウル(公競No.106・03)で開催された。

少年男子と少年女子はともに予選トップ選手が逃げ切る展開で、増田優輝(愛知)と熊田菜奈海(埼玉)が優勝。成年男子は猛チャージ、成年女子は接戦の末の逆転劇となり、林大智(長野)と河村怜奈(京都)が制した。

開会式であいさつする北川薫会長
開会式であいさつする山形県連盟吉村和武会長

賛助会員、特別法人・個人会員紹介

<2022年11月11日以降登録者>

【特別個人会員】 喜昭、吉川勇、梅田

▽福井県 北勝美 信秀、中田洋和
(連盟理事長、橋本 啓之(同副理事長)、
小澤弘幸(同)、堂脇浅 啓之(同副理事長)、
▽滋賀県 池本雅尚
▽兵庫県 大原和博
行、幅田雅之、漆崎 (順不同敬称略)

イベントカレンダー

12月 & 1月

- ▽12月2日(金)〜4日(日) 文部科学大臣杯第60回全日本大学選手権大会 神奈川・川崎グラウンドボウル
- ▽12月10日(日) ボウリング教室 (キャラバン隊) 秋田・仙北ファミリーボウル
- ▽12月11日(日) ボウリング教室 (キャラバン隊) 岩手・盛岡スターレーン
- ▽12月23日(金)〜25日(日) 文部科学大臣杯第29回全国高等学校対抗選手権大会 三重・津グランドボウル
- ▽1月15日(日)〜18日(水) 全日本シヨナルチームウィンターキャンブ 神奈川・川崎グラウンドボウル
- ▽1月20日(金)〜22日(日) 第51回全日本クラブ対抗選手権大会 兵庫・神戸六甲ボウル
- ▽1月27日(金)〜29日(日) 第40回全日本実業団都市対抗選手権大会 京都・MKボウル上賀茂

JBC事務局 年末年始業務休止のお知らせ
・仕事納め 12月26日(月)
・冬季休業 12月27日(火)〜1月5日(木)
・仕事始め 1月6日(金)

スポーツくじ

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

文部科学大臣杯 第29回 全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

主催 (公財)全日本ボウリング協会
後援 スポーツ庁 (公財)全国高等学校体育連盟 (公財)三重県スポーツ協会 三重県高等学校体育連盟 三重県ボウリング公認競技場協議会 三重県ボウリング場協会

2022/12/23(金)▶25(日)

協力 日本ボウリング機構(JBO) (公社)日本ボウリング場協会 津グランドボウル
主管 三重県ボウリング連盟

津グランドボウル
〒514-0821 三重県津市垂水915-1
TEL 059-227-7415 FAX 059-224-4375
https://www.grandbowl.jp/tsu/